

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	HOYA株式会社					
代表者名	氏名	池田 英一郎	役職名	代表執行役		
主たる事務所の所在地	東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル 20F					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	32 その他の製造業				
主たる事業の概要	眼鏡用プラスチックレンズ製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,467	2,393	1,857	1,733	1,683
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,768	4,624	3,639	3,374	3,270
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0
自動車の台数	台	1	1	1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

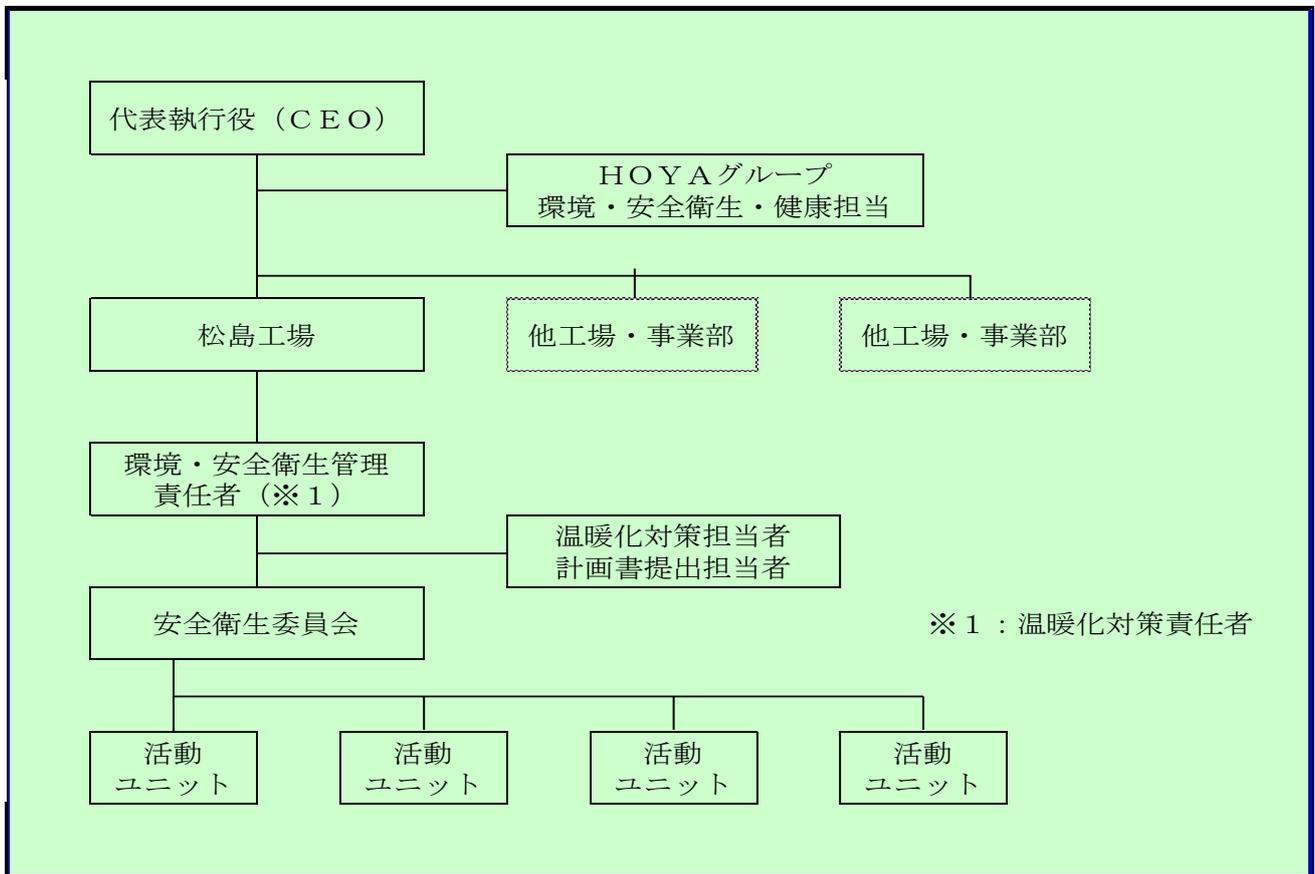
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所 松島工場（長野県上伊那郡箕輪町中箕輪8787） 時間 9:00～16:00 連絡先 0265-79-8121 管理Team
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

HOYAグループ環境理念及び環境基本方針に基づき、松島工場環境管理活動計画を策定し、活動を推進する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

安全衛生委員会（環境保全委員会）：1回／1ヶ月  
省エネプロジェクト：1回／3ヶ月

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,768	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	127.60	単位	百m <sup>2</sup>
2019年度	調整後排出量	4,768	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	37.37	t-CO <sub>2</sub> /	百m <sup>2</sup>
目標年度	目標排出量	4,624	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	36.24	t-CO <sub>2</sub> /	百m <sup>2</sup>
2022年度	目標削減率	3.02	%	目標削減率	3.02	%	
目標設定に関する説明	省エネ法にあわせて、年平均1%の削減目標を設定した。						
第一年度	排出量	3,639	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	127.60	単位	百m <sup>2</sup>
	削減率	23.67	%	原単位	28.52	t-CO <sub>2</sub> /	百m <sup>2</sup>
2020年度	調整後排出量	3,639	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	23.68	%	
	削減率	23.67	%				
排出量等の増減理由	生産数量に合わせた生産設備とインフラ設備の計画停止と、工場内の各工程毎の稼働時間を見直しにより電力量の削減を図った。 ボイラの運転時間短縮と空調機の温度設定変更でA重油使用量を削減。 冷水、温水の温度設定の変更で冷凍機・ボイラ等の稼働時間短縮による電力・A重油使用量を削減。 外気状況により冷水・温水の製造をせず電力・A重油使用量を削減。						
第二年度	排出量	3,374	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	127.60	単位	百m <sup>2</sup>
	削減率	29.23	%	原単位	26.44	t-CO <sub>2</sub> /	百m <sup>2</sup>
2021年度	調整後排出量	3,374	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	29.24	%	
	削減率	29.23	%				
排出量等の増減理由	生産数量に合わせた生産設備とインフラ設備の計画停止と、工場内の各工程毎の稼働時間を見直しにより電力量の削減を図った（夜間未稼働の生産エリアの空調停止等）。 ボイラの運転時間短縮と空調機の温度設定変更でA重油使用量を削減。 冷水、温水の温度設定の変更で冷凍機・ボイラ等の稼働時間短縮、コンプレッサ用冷却水ポンプを1台停止による電力・A重油使用量を削減。						
第三年度	排出量	3,270	t-CO <sub>2</sub>	延床面積	127.60	単位	百m <sup>2</sup>
	削減率	31.41	t-CO <sub>2</sub>	原単位	25.63	t-CO <sub>2</sub> /	百m <sup>2</sup>
2022年度	調整後排出量	641	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	31.41	%	
	削減率	86.55	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	2022年度より、CO <sub>2</sub> フリーの電力に切り替えによる排出量の削減。 100kWエアコンプレッサの老朽化と現状の使用量に合わせ75kWエアコンプレッサに更新し使用電力を削減。夜間生産工程での使用量が減少することから、夜間は37kWエアコンプレッサに切り替え使用量を削減。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330202	空調機インバータ化	2022			
2	エネ起	360799	圧空供給体制の最適化 ・高効率機器の導入・圧力別配管の設置	2022		2022	80
3	エネ起	360701	コンプレッサー用冷却水ポンプ停止 (全館冷却水系統から供給)	2021		2021	
4	エネ起	380752	LEDの導入 天井照明ランプのLED化(Hf→LED)	2020～ 2022		2020～ 2021	4
5	エネ起	370702	高効率電動機への更新	2021			
6	エネ起	329999	高効率ボイラへの更新 (炉筒煙管ボイラ→貫流ボイラ)	2022	103		
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,768	1	3,639	1	3,374	1	3,270
1,500k1未満								
合計	1	4,768	1	3,639	1	3,374	1	3,270

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	1	1	1	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時の移動手段は、基本的に公共交通機関を使用する
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	輸送単位や頻度の合理化

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	2013年度
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	産廃の汚泥を天日乾燥することで含水率を低減させ排出量を削減		2020年度

1.5 自由記載欄

産業廃棄物の汚泥を天日乾燥することで含水率を低減させ排出量を削減。ヒーター等を使用しないため乾燥にかかるエネルギーは0である。  
 レンズ切削屑に水分を含んでいるが、洗濯機の脱水機能で水分除去し排出量を削減。  
 冬季間のフリークーリングによる冷水製造で冷凍機停止を継続。  
 2022年度より、CO2フリーの電力に切り替え。